

Universal Kakekko Challenge

ユニバーサルかけっこチャレンジ



(株) Accel代表 大西 正裕

全ての人に公平なレースは存在するか？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



陸上競技における公平とは何か？ 平等とは何か？

障がいの有無など背景に関係なく
スタートラインが同じことか？



障がいの有無など背景を考慮し
スタートラインを変えることか？

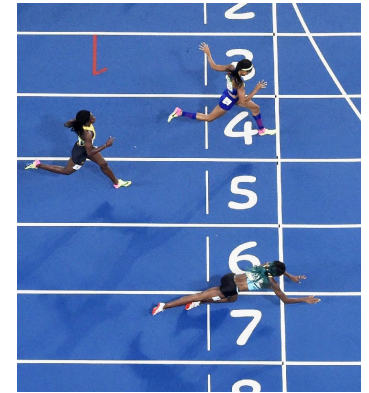


全ての人と同じ土俵で競走することはできないのか？
障がい・年齢・性別などを越えることはできないのか？

全ての人に公平なレースは存在するか？

Q.競走とは？

A.ある地点からある点までの移動を競うこと。
障がい、年齢、性別が考慮されることはない。
誰の前でも等しく100mは100mである。



Q.競争とは？

A.互いに同じ目的に向かって勝敗・優劣を競い合うこと。
背景は関係ない。考慮してハンデをつけることも可能。
ただそれは“同じ土俵”とは言い難い。



ルールを変えずに、全ての人と同じ土俵で競技したい。
では、どのようにこの課題を解決すべきか？

全ての人に公平なレースは存在するか？

混成競技のポイントとWAのワールドランキングから着想。



順位のスコア

Haruka KITAGUCHI											✕	
	Cnt.	Cat.	Event	Type	Pl.	Result	R.Sc	WR	Pl.Sc	Pf.Sc		
ics Championships, Oregon 2022, Hayward Field, Eugene, OR	JPN	OW	Javelin Throw	F	3.	63.27	1139		280	1419		
owska Memorial, Stadion Śląski, Chorzów	JPN	GW	Javelin Throw	F	1.	65.10	1173		200	1373		
aris, Stade Charléty, Paris	JPN	GW	Javelin Throw	F	1.	63.13	1136		200	1336		
i Damme, Boudewijnstadion, Bruxelles	JPN	GW	Javelin Throw	F	2.	63.45	1142		170	1312		
, Stade Louis II, Monaco	JPN	GW	Javelin Throw	F	2.	62.37	1122		170	1292		

View Athlete Profile

Average of Performance Scores: 1346

Ranking Score: 1346

記録のスコア

合計のスコア

記録ポイント



背景を考慮した
ユニバーサルポイント



合計ポイント

全ての人と同じ土俵で競走・競争が可能に。

ユニバーサルかけっこチャレンジ (UKC) とは？

陸上競技の最も良いところはルールの前には皆が平等であることだと思います。年齢も、性別も、障害の有無も関係なく、は決められた距離の時間・順位を争う競技として行われています。どんな背景を持っていても、誰の前でも100m走は100m走です。背景を理由に距離が短くなることはありません。

ですが、競技となって横並びにスタートしたならば、若い男性アスリートの独壇場になることは容易に想像できます。これはこれで素晴らしいことですが、競争性・ゲーム性が乏しいことも事実です。この背景の違いを考慮し、どんな人も同じ土俵で競うことはできないか？または、そんな世界観の競技は作れないかと思案した大会がこの“Universal Kakekko Challenge(ユニバーサル・かけっこ・チャレンジ) の略称となります。

UKCでは、走った記録を障害、性別、年齢を考慮したスコアテーブルを用いてポイント化し競います。これによって様々な背景をもつ人達が競うことができます。義足の選手と60代の選手が10代の若いアスリートとポイントで競い、戦うことができます。ゴールまで全力で走り切らなければ勝ったか負けたかわからない。

これがかけっこの原点じゃないかなと思います。



UKCポイント

UKCポイント

- ・ 走種目の記録をポイント化し、カテゴリごとの競争を可能にする。
- ・ 年齢、障がいに応じたUKCオリジナルスコアテーブルを作成し競技を行う。
- ・ 各カテゴリの100m走の日本記録をWA公認スコアテーブルにてポイント化。
- ・ 100m走のポイントと同等のポイントを50m走記録をUKCスコアテーブルの記録として引用。
- ・ 日本記録をベースに各カテゴリのポイントを算出。
- ・ 0.01秒毎にポイントが変動する。

	100m	WAスコア	50m
健全者日本記録	9.95	1224pt	5.62
下腿義足 (T64) 日本記録	11.37	780pt	6.34



同じ1200ptと設定

UKCスコアテーブル (一部抜粋)

ポイント	6年	20代	30-34歳	40-44歳	50-54歳	60-64歳	T64
1200	6.75	5.62	5.69	6.04	6.56	7.03	6.34
1001	8.08	6.95	7.02	7.37	7.89	8.36	7.67
800	9.42	8.29	8.36	8.71	9.23	9.70	9.01
600	10.75	9.62	9.69	10.04	10.56	11.03	10.34



UKCポイント
計算サイト

第1回大会の様子

【日時】 2022/7/3 14:00-17:00

【場所】 新豊洲ランニングスタジアム

【種目】 コンペティションの部 50m (ポイント上位18名による決勝レース)
フリーの部 50m (時間内に何度も自由に走れる部門)

【対象】 全カテゴリーで 120名 (6レーン×20組) ※**150名**の参加
未就学・小学校低学年・小学校高学年・中学生・高校～20代・30代・40代・50代
レースは未就学を除く全カテゴリーを織り交ぜて行う。



関連記事

Paraphoto

パラフォトとは 選手 記事 国際大会 イベント 書籍

競走の天才、トラック・フィールド、平塚、東京、横浜、陸上 - 公開 2022年7月1日 午前 9:27 AM - 更新 2022年7月1日 午後 4:22 PM

「ブレッド・フォー・オール!」遠藤謙と陸上競技の仲間たちがユニバーサルかけっこチャレンジを開催!



知り・知る・知るポイント 100文字で
誰もが公平な土壌であることを目指して「ユニバーサルかけっこチャレンジ」が開催されました。競走エンジニアの遠藤謙とパラリンピアン佐藤正太、大西正樹コーチが代名を兼ねる陸上クラブ「アップセルトラッククラブ」の呼びかけで開催された。トップアスリートから小学生まで「誰でも」に参加された人々が100人以上、最大50mへの挑戦を楽しんだ。

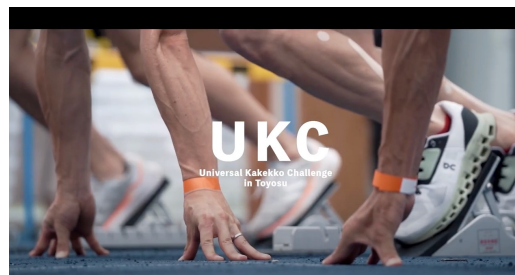
遠藤の予想通り「いずれ満足が満足よりも速くなる」としたら、いずれのランナーも競争に慣れていっただけ有利である。UKCでの「走ること」は、満足であるかどうか、障害があるかどうか、その間には意味のない間であることを共に走ることによって参加者に気づかせてくれる。



UKCを企画したスタッフの皆さんで記念写真 撮影・秋篠野生



関連動画



今後の予定

【日時】 2022/10/9 10:30-12:00

【場所】 ブリオベッカ浦安

【種目】 フリーの部 50m（時間内に何度も自由に走れる部門）

【対象】 浦安市のスポーツイベント内での実施。

事前予約なしで誰もが当日参加できる形での運営。

義足体験可。



【日時】 2022/10/10 10:30-12:00

【場所】 フクシ・エンタープライズ墨田浦安

【種目】 全カテゴリーで 120名（6レーン×25組×2コース）

※**300名**の参加者を募集予定。

レースは未就学を除く全カテゴリーを織り交ぜて行う。

【対象】 コンペの部の実施のため、要事前予約。

2次レース開催予定。

オリパラのゲストアスリートも参加。



“陸上競技” or “パラ陸上競技”



陸上競技を起点にユニバーサルな視点を。